

## 2025 年度 奨学生入学試験

# 地理歴史・公民・理科 〔世界史探究, 日本史探究, 政治・経済〕 物理基礎・化学基礎・生物基礎

(試験時間 60分)

この問題冊子には、「世界史探究」「日本史探究」「政治・経済」の3科目及び「理科(物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、121ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史探究	4～29	左の3科目のうち1科目を選択して解答する。
	日本史探究	30～59	
	政治・経済	60～87	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	89～121	試験時間内に左の3科目のうち2科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙1枚で2科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間(60分)の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 日本史探究

(解答番号  ~ )

**第1問** 原始・古代の社会・文化・政治に関する次の文章A・Bを読み，下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は，一部省略したり，書き改めたりしたところもある。)

A およそ1万年前，最後の氷期が終わり，気候の温暖化とともに海面が上昇し，現在の日本列島がほぼ出来上がった。自然環境の大きな変化によって，日本列島では住む人々の生活様式も大きく変化し，ここから長い年月をかけて，いわゆる①縄文文化が形成された。

自然の恵みに依存した縄文文化は，1万数千年余り続いた。その間に，大陸では穀物生産が行われるようになった。稲作は，長江流域に発生し，朝鮮半島を経て日本に伝わったとされるが，やがて②北海道や沖縄などの南西諸島を除く，日本列島各地に広まることとなった。こうして食糧を得る手段が安定したことにより，新たな文化として弥生文化が生み出された。

これらの文化が営まれたのは，③日本列島の領域で文字が使われる前の事であるため，その具体的な内容については，出土した④遺構や遺物を分析する考古学的なアプローチによって研究が進められている。

問 1 下線部③に関連して、次の図 1・2 に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1

図 1



図 2



X 図 1 は石匙と呼ばれる石器で、動物の皮をはぐときなどに用いられた。  
Y 図 2 は土偶と呼ばれる人形で、大半が成人男性を模したものであり、死者とともに墓に納められた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

## 日本史探究

問2 下線部⑥に関連して述べた次の文の空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

日本列島各地に弥生文化が広がるなか、 では弥生文化が及ぶことはなく、7世紀頃まで狩猟・漁労・採集によって食料を調達する縄文文化と呼ばれる文化が続いた。なお、農耕は行われなかったが、漁労に用いたと考えられる  が見つかるなど、道具の発展は他の地域同様に見られる。

- ① ア 北海道    イ 石 錘
- ② ア 北海道    イ 石 鍬
- ③ ア 沖 縄    イ 石 錘
- ④ ア 沖 縄    イ 石 鍬

問3 下線部㉔に関連して、日本列島の領域ではまだ文字が使われていなかったが、次の史料は当時の日本列島の様子を記した中国の歴史書の一部である。この史料にある語句に関して述べた下の文 a ~ d について、正しいものの組合せを、下の①~④のうちから一つ選べ。 3

## 史料

建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫(注1)と称す。

倭国の極南界なり。光武、賜ふに印綬を以てす。

安帝の永初元年、倭の国王帥升等、生口百六十人を献じ、請見を願ふ。

桓靈(注2)の間、倭国大いに乱れ、更相攻伐して歴年主なし。

(『後漢書』東夷伝)

(注1) 大夫：古代中国の官職名。

(注2) 桓靈：後漢の桓帝と靈帝。

- a 「奴国」とは、九州北部にあった国のことで、その王が後漢に使いを送った。
- b 「印綬」とは、後漢の皇帝が遣使船に所持を義務づけた渡航許可書である。
- c 「生口」とは、倭国の王が後漢の皇帝に献上した奴隷のことである。
- d 「倭国大いに乱れ」とは、倭国と後漢との軍事衝突を指している。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問 4 下線部④に関連して、縄文時代や弥生時代の遺跡について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

4
---

- ① 青森県にある三内丸山遺跡は、大型の竪穴住居跡などが発掘された縄文時代の大集落の遺跡である。
- ② 東京都にある大森貝塚は、アメリカ人の生物学者であるモースによって調査された縄文時代の遺跡である。
- ③ 福岡県にある板付遺跡は、縄文文化から弥生文化に移行する時代の水田跡が発見された遺跡である。
- ④ 佐賀県にある吉野ヶ里遺跡は、防衛のために山頂につくられた弥生時代の高地性集落の遺跡である。

**B** 日本に本格的な都城がつくられたのは、694年に遷都された藤原京が最初と考えられている。この時代には、官僚制にもとづく中央集権的な国家づくりが進められており、8世紀に入ってもそうした方針は継続された。710年に都が<sup>e</sup>平城京にうつされて以降、長岡京・平安京に遷都されるまでの時代を奈良時代という。

奈良時代には、元明・元正・<sup>f</sup>聖武・孝謙・淳仁・称徳・光仁の7代の天皇が順に即位し、天皇を頂点とする政治体制が整備された。一方で、天皇家と結びついた藤原不比等などの人物が現れ、特に<sup>g</sup>藤原氏は、他氏族と対立競合しながら、政界において勢力を伸ばしていった。

また、大宝律令を修正した<sup>h</sup>新たな基本法典が制定されるとともに、各種法令が出され、国家財政の基盤強化が進められたのもこの時代である。外交においては、東アジア情勢が安定したことを背景に、日本は遣唐使の派遣を定期的に行いつつ、<sup>i</sup>周辺諸国や地域との関係を築いていった。

**問5** 下線部<sup>c</sup>に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

**X** 畝傍・耳成・香具山の和和三山に囲まれた山がちの地形につくられた。

**Y** 左右対称ではなく、右京に隣接して外京と呼ばれる張り出し部がある。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史探究

問6 下線部㉑に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 聖武天皇の母方の祖父は、南家の藤原武智麻呂である。
- ② 聖武天皇の即位直後に、式家の藤原広嗣が大宰府で反乱を起こした。
- ③ 聖武天皇の代には、恭仁京、難波宮、紫香樂宮などに都がうつされた。
- ④ 聖武天皇は国司に大仏造立の詔を出し、諸国に盧舎那仏をつくらせた。

問7 下線部㉒に関連して、藤原氏の人物に関する事件について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

- Ⅰ 皇太后と結び勢力を伸ばした藤原氏の人物が、政敵であった橘奈良麻呂を滅ぼした。
- Ⅱ 太上天皇の寵愛ちようあいを受けた道鏡が台頭するなか、藤原氏の人物が挙兵したが敗死した。
- Ⅲ 皇族で左大臣であった政敵を藤原氏の人物が自害に追い込み、天皇に嫁いだ妹を皇后に立てた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問8 下線部⑥に関連して、奈良時代の法令について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① 遣唐使が持ち帰った大陸の知識を用いて編纂された養老律令は、藤原不比等によって施行された。
- ② 長屋王を中心とした政府は、口分田不足を補い、税収の増加をはかるために三世一身法を発した。
- ③ 聖武天皇は、土地支配の強化のために墾田永年私財法を停止し、開墾した田地の私有を制限した。
- ④ 奈良時代には、施行細則の「式」は整備されたが、律令の追加修正法の「格」の制定は行われなかった。

問9 下線部①に関連して、奈良時代の周辺諸国・地域と日本との関係について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

X この国は7世紀末に建国されたが、唐との関係が悪化したために、その対抗として日本に従属する形で国交を結んだ。

Y この施設は、日本が日本列島の北部に支配を拡大するために築いた軍事施設であり、行政施設としての一面も備えていた。

a 渤海                      b 新羅                      c 多賀城                      d 大宰府

- ① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d
- ③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

**第2問** 中世の社会経済・文化に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 律令国家は、当初、土地は国家のものであるとしていたが、次第に土地の私的所有を認めた荘園が拡大していった。平安時代後期には、有力貴族や大寺院への土地の寄進が盛んになったことを受け、㉑荘園整理令が出されるなどした。しかし、㉒院政期になると、上皇も荘園の集積をはかったため、八条院領や長講堂領と呼ばれる皇室領荘園群が形成された。また、公領についても、知行国や院分国の制度が広まり、私的所有に近いものへと変化し、荘園公領制が確立していった。

こうして律令的土地制度が崩壊した平安時代後期には、土地をめぐる紛争が多発したため、そうした社会不安を背景に㉓武士が力を強めた。源氏や平氏がそうした武士たちを傘下に組み入れて武士集団を形成し、院政期に僧兵や貴族間の問題が武力によって解決されるなかで、平清盛が政治の実権を掌握し、㉔平氏政権が誕生した。

問1 下線部㉑に関連して、後三条天皇が行った延久の荘園整理令について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

10
----

- ① 荘園の無秩序な増加を抑制してその整理統合を行うとともに班田を励行し、律令制の再建を目指した。
- ② 中央に記録荘園券契所を設置し、これまで国司にゆだねていた荘園整理のための審査を担当させた。
- ③ 朝廷政治に深く関わっていた摂関家などの荘園については、政争を避けるために整理対象としなかった。
- ④ 整理対象は荘園だけでなく公領にも及んだため、荘園と公領の均質化がいつそう進むことになった。

問2 下線部⑥に関連して、院政期の政治に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

X 院政を行った上皇は、天皇の直系尊属として、天皇を後見する形で政治の実権を握った。

Y 院政を行った上皇は、仏教を厚く信仰し、全国に国分寺と国分尼寺を建立させた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問3 下線部③に関連して、武士の台頭を示す事件に関して述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

I 崇徳上皇は、左大臣であった藤原頼長と結び、源氏や平氏の武士を集めた。

II 清原氏の内紛に陸奥守であった源義家が介入し、藤原清衡を勝利させた。

III 藤原信頼は、武士であった源義朝と結んで藤原通憲を自害させた。

① I — II — III

② I — III — II

③ II — I — III

④ II — III — I

⑤ III — I — II

⑥ III — II — I

日本史探究

問4 下線部④に関連して、平氏と関わりのある地名について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 13

X 平氏はこの港を修築し、日宋貿易を積極的に進めた。

Y 平氏はこの神社を信仰し、『平家納経』と呼ばれる豪華な装飾経を納めた。

a 大輪田泊      b 和賀江津      c 宇佐八幡宮      d 巖島神社

① X — a      Y — c                      ② X — a      Y — d

③ X — b      Y — c                      ④ X — b      Y — d

B 室町時代後期の代表的な建築物としては、足利義政が京都の東山山荘に建てた銀閣が有名である。また、山荘内の東求堂同仁齋にみられる **ア** は、この頃に成立した建築様式で、その後の日本の住宅に大きな影響を与えるものとなった。

室町時代においては、<sup>e</sup> 経済活動の活発化を背景に、<sup>f</sup> 民衆の生活が向上し、民衆が新たな文化の担い手となったことも注目される。公家や武家、民衆といった異なる階層間で相互に影響を与え合い、<sup>g</sup> 独自の文化が形成されたのである。室町時代前期にも京都と地方との文化交流は見られたが、15世紀後半に起こった **イ** で京都が荒廃すると、文化人たちが<sup>h</sup> 戦国大名を頼って地方に移り住んだため、城下町は京都の文化を吸収して発展し、各地で小京都が誕生した。

問5 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **14**

- ① ア 権現造      イ 応仁の乱
- ② ア 権現造      イ 天文法華の乱
- ③ ア 書院造      イ 応仁の乱
- ④ ア 書院造      イ 天文法華の乱

## 日本史探究

問6 下線部㉔に関連して、室町時代の経済の発展について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 近畿地方では二毛作が始まり、稲の品種改良も進んだ。
- ② 大山崎の油座は、油販売や原料である荏胡麻購入の独占権を持っていた。
- ③ 室町時代後期には、月に三回開催される三斎市が始まった。
- ④ 貨幣の不足を補うため、寛永通宝などの明銭が輸入された。

問7 下線部㉑に関連して、民衆の抵抗形態の一つである一揆に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

16

- a 正長の徳政一揆では、農民が都市部の民衆や武士を巻き込んで、京都の土倉・酒屋などを襲った。
- b 嘉吉の徳政一揆では、将軍であった足利義教が要求に従い、幕府として初めての徳政令を出した。
- c 山城の国一揆では、武士と民衆が手を組み、同族内で抗争を続ける守護の畠山氏の軍勢を国外に退去させた。
- d 加賀の一向一揆では、一向宗の信徒たちが、国人の富樫政親を支援して守護を倒した。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問8 下線部㉔に関連して、室町時代の文化に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

17
----

- a 能は日常生活を題材とし、滑稽な台詞で笑いを誘った。
- b 連歌師が各地の連歌の寄合に招かれ、指導者として活躍した。
- c 御伽草子は、絵の余白に話し言葉の文章が書かれているものが多かった。
- d 田楽と歌舞伎踊りが融合した盆踊りが、各地で開催されるようになった。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

問9 下線部⑨に関連して、次の史料1・2は戦国大名の分国法・家法の一部である。史料1・2について述べた文として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

18

史料1

朝倉か館<sup>たち の ほか</sup>之外<sup>かまへ</sup>、国内□城郭を構させましく候。惣別<sup>ぶげん</sup>(注1)分限あらん者(注2)、一乗谷へ引越、郷村には代官ばかり置かるべき事。

(『朝倉英林壁書』)

(注1) 惣別：すべての。

(注2) 分限あらん者：所領がある者。

史料2

一 駿<sup>すん えん</sup>・遠<sup>とものがら</sup>両国の輩<sup>あるいは</sup>、或<sup>とり</sup>わたくしとして他国よりよめを取、或<sup>とり</sup>ハむこに取、むすめをつかハす事、自<sup>じ</sup>今<sup>こん</sup>以後これを<sup>ちようじ</sup>停止し<sup>おわ</sup>畢<sup>おわ</sup>んぬ(注3)。

一 不入<sup>はんぎよう</sup>の地の事、代々の判形<sup>たい</sup>を載し(注4)、各露<sup>ろ</sup>顯<sup>けん</sup>(注5)の在所<sup>さ</sup>の事<sup>た</sup>ハ沙汰<sup>さた</sup>に及ばず、新儀<sup>しんぎ</sup>の不入<sup>はんぎよう</sup>、自<sup>じ</sup>今<sup>こん</sup>以後これを停止す。

(『今川仮名目録』)

(注3) 畢んぬ：してしまった。

(注4) 判形を載し：領主の正式書類を受け取り。

(注5) 露顯：明確である。

- ① 史料1では、家臣は領国内に城郭を設置してはならないとしている。
- ② 史料1では、所領を持つ家臣は城下町に住居を移すように命じている。
- ③ 史料2では、家臣が勝手に他国の者と姻戚関係を結ぶことを禁じている。
- ④ 史料2では、領国内において守護使不入の地を一切認めないとしている。

(下書き用紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

**第3問** 次の文章A・Bは、高校生のアキラと、クラスメイトであるヒカルとの会話である。この文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A

アキラ：今日の江戸時代前期の外交についての授業は面白かったな。当時の国内外の情勢がとてもよくわかったよ。

ヒカル：㉑キリスト教の禁止を徹底するためには、いわゆる「鎖国」が必要だったということだよ。

アキラ：うん、ただ当時の幕府は貿易をしたくなかったわけではないんだよ。

ヒカル：キリスト教の禁止は徹底したいけれど、貿易は継続したい。どちらをとるかという問題だよ。

アキラ：だから、㉒4か所で窓口を設けて一定の国や民族との商取引や交流は続けつつ、これらを幕府が厳しくコントロールすることにしたわけだね。

ヒカル：強権的ではあるけれど、すごく考えられた政策に思えるよ。こうした海外との交流制限は、㉓国内産業の発展という恩恵も生みだしているからね。

アキラ：なるほど。でも、国内産業の発展の背景には、戦乱がおさまって、民衆の生活が安定したという側面も大きかったように思うよ。

ヒカル：それはそうかもね。㉔4代将軍の徳川家綱や5代将軍の徳川綱吉の時代になると、戦乱のない時代に応じた新しい政策も実施されて、戦国時代が終わったのだと感じさせられるからね。

アキラ：そうだね。そして、17世紀末から18世紀初めには、㉕貿易についての政策も見直しが行われるわけだよ。同じ江戸時代といっても、どの時代かで政策の内容が大きく異なるのが興味深いよ。

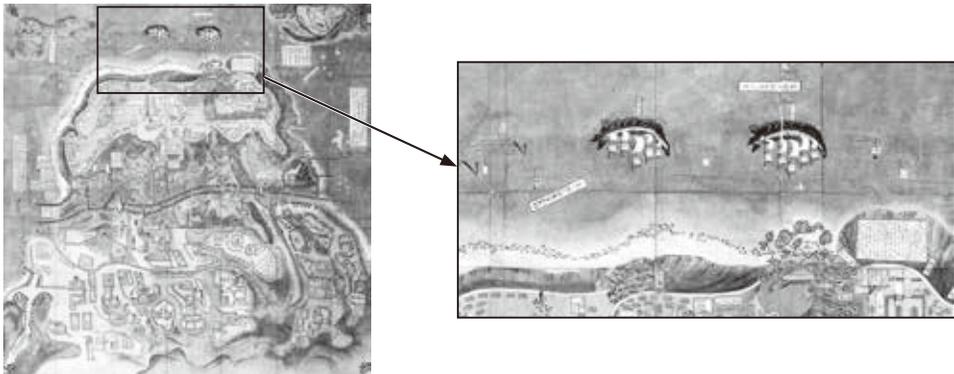
ヒカル：歴史はひとつひとつの出来事を覚えるのも楽しいけれど、時代に応じた変化を考えていくと、より面白味が増すよね。

問 1 下線部②に関連して、ポルトガル船の来航が禁止されるきっかけとなった島原の乱について、次の資料 1 はポルトガル人による乱の報告書、資料 2 は一揆勢が立て籠った原城の様子を描いた図である。資料 1・2 に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 19

## 資料 1

長崎の奉行は叛乱の原因を調査し、それが有馬の地の領主である奉行長門守の苛酷をきわめた虐政によるものであることを見出した。(中略)ところが、殿の重臣たちは、これをキリスト教徒が蜂起したものと説明して、その虐政を蔽い隠し、日本国中の領主たちと皇帝に対して面目を失わないように図ったのであった。  
(『ドアルテ=コレアの島原一揆報告書』)

## 資料 2



X 資料 1 は、領主の圧政を隠ぺいするために宗教問題に原因がすり替えられたとして、百姓一揆としての側面があることを強調している。

Y 資料 2 からは、一揆勢が立て籠った原城の周囲の海上に、幕府側の船とは別にオランダ船と思われる船もいたことが見て取れる。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

## 日本史探究

問2 下線部㉔に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 佐賀藩の管理下におかれた長崎には、オランダ人のための出島や中国人のための唐人屋敷が設けられた。
- ② 対馬藩の宗氏は、朝鮮と己酉約条を結んで貿易を独占し、朝鮮国王の代替わりごとに謝恩使を派遣させた。
- ③ 薩摩藩は琉球王国を支配下におき、琉球王国に中国との朝貢貿易を継続させることで利益を得た。
- ④ 蝦夷地では、松前氏にアイヌとの交易独占権が認められたが、交易に不満をもったコシヤミンが蜂起した。

問3 下線部㉕に関連して、江戸時代の経済の発展に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

- a 有力な商人の出資によって開発された町人請負新田が、各地で見られるようになった。
- b 網を用いた東国の漁法が上方にも伝わり、瀬戸内の漁業を発展させた。
- c 灰吹法という新しい精錬技術が広まり、金の産出量が増加した。
- d 東北地方の酒田を起点とする東廻り海運・西廻り海運が整備され、国内流通が促進された。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d



B

アキラ：江戸時代後半に登場する松平定信という人は、どんな人物だったのかな。

ヒカル：どうということ？

アキラ：近代史に渋沢栄一という人物がいるけれど、彼は日本の資本主義の確立に功績があったとされているよね。その渋沢が松平定信を尊敬していたらしくて、定信の伝記である『楽翁公伝』という本の出版にも尽力したみたいなんだ。

ヒカル：面白い話だね。渋沢栄一と松平定信にそんな関係があったんだね。

アキラ：うん。それで、松平定信に興味をもったんだ。彼はどのような政策をしたことでそんなに尊敬されているのだろうかって思って。

ヒカル：そうだね。彼は、江戸幕府の三大改革の一つである寛政の改革を主導した老中だったよね。

アキラ：確か、天明の大飢饉という天災が起きて、そこからの復興や幕府の財政の立て直しをはかったんだよね。

ヒカル：大変な時代だよね。また来るかもしれない①飢饉への対策や、飢饉によって危機的な状況に陥った農村と都市の復興に努めたというわけだよね。

アキラ：なるほど。そうした政策については、確かに評価できることはわかるな。だけど、寛政の改革では②学問や言論の統制も行っているよね。これはどうして行われたのかな。

ヒカル：難しい問題だけど、多分、幕政改革を強く押し進めていくためには、幕府の権威を高める必要があったのだろうね。

アキラ：そういうことか。それでわかったよ。この時代には幕府と③朝廷との対立も話題として出てくるけれど、それもそうした幕府の権威を高めることとつながりがあるのだろうね。

ヒカル：そうだね。あとは、国内だけでなく、④ロシア船が日本に来航してきていた時期でもあるから、定信はそうした対外的な政策にも頭を悩ませていただろうね。

アキラ：ありがとう。短い期間に数多くの問題に取り組んだ老中だということがわかってきたよ。より細かく調べてみることにするね。

問6 下線部㉑に関連して、寛政の改革の施策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① 飢饉に備えて各地に社倉や義倉を設け、米を備蓄させた。
- ② 正業を持たない都市住民に資金を与え、農村に帰ることを奨励した。
- ③ 石川島に人足寄場を設け、無宿者を強制収容して職業訓練をさせた。
- ④ 江戸の町の運営費である町入用の7割を、貧民対策用に積み立てさせた。

問7 下線部㉒に関連して述べた次の文の空欄 ウ エ に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

松平定信は、寛政異学の禁を発して、湯島聖堂の学問所で、ウ 以外の講義や研究を禁止した。この方針は、聖堂学問所を管理する大学頭に対して示されたものではあったが、各藩の藩校も多くはそれに倣<sup>なら</sup>った。また、幕政に関する発言を幕府への批判として厳しく取り締まり、『海国兵談』を著して海岸防備を説いた エ を禁固刑に処した。

- ① ウ 古学      エ 林子平
- ② ウ 古学      エ 工藤平助
- ③ ウ 朱子学    エ 林子平
- ④ ウ 朱子学    エ 工藤平助

問 8 下線部⑥に関連して、幕府と朝廷をめぐる出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 26

- Ⅰ 幕府が紫衣着用の勅許を無効とし、これに抗議した僧侶の沢庵らが処罰された。
- Ⅱ 幕府は、光格天皇の父への尊号宣下の承認を求められたが、これを拒否した。
- Ⅲ 皇子・皇女の出家が慣例化していたため、幕府が費用を献上して閑院宮家を創設した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ  
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 9 下線部①に関連して、18世紀後半から19世紀初めのロシアと日本との間の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 老中であつた田沼意次は、近藤重蔵らを蝦夷地に派遣し、ロシアとの交易の可能性を探らせた。
- ② ロシア人のラクスマンが根室に来航し、漂流民の大黒屋光太夫らを送還するとともに、交易を求めた。
- ③ ロシア人のレザノフが長崎に来航し、オランダ人を拉致監禁して、薪水・食料を要求した。
- ④ 日本がロシア軍艦の艦長のゴローウニンを捕らえると、ロシアは報復として学者の伊能忠敬を捕縛した。

(下書き用紙)

日本史探究の試験問題は次に続く。

**第4問** 近代の経済・外交に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A 1854年の日米和親条約の締結後、来日したアメリカ駐日総領事ハリスの強い要求を受け、㉑1858年にはアメリカをはじめとしてオランダ・ロシア・イギリス・フランスとの間で通商条約が結ばれた。こうして諸外国との貿易が開始されたが、貿易の影響によって日本国内では㉒物価が高騰するなどし、民衆の生活を圧迫した。このような開国による社会経済の変動を背景に㉓尊王攘夷運動は展開され、やがて倒幕運動へと発展し、幕府を崩壊させる要因となった。

しかし、天皇を中心として明治新政府が樹立されると、政府高官は攘夷の旗を降ろし、開国和親を掲げた。1868年に新政府が発布した **ア** の第4条には、「旧来ノ陋習ろうしゅうヲ破り天地ノ公道こうどうニ基クヘシ」とあり、「旧来ノ陋習」が攘夷運動のことを指していることから、このことがうかがえる。これ以降、明治新政府は、富国強兵を目指して㉔中央集権的な国家体制の確立を急ぎ、徴兵令の実施による軍制の改革、地価の **イ** %を貨幣で納税させるとする税制の改革などが行われ、欧米諸国をモデルとした近代国家の建設が進められた。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **28**

- ① ア 五箇条の誓文      イ 3
- ② ア 五箇条の誓文      イ 5
- ③ ア 王政復古の大号令      イ 3
- ④ ア 王政復古の大号令      イ 5

問2 下線部㉔に関連して、日米修好通商条約の内容について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 神奈川，長崎，箱館，新潟，兵庫の開港が規定された。
- ② 開港場に居留地を設け，一般外国人の国内旅行は禁止すると規定された。
- ③ 日本国内で罪を犯したアメリカ人については，アメリカ領事のもとで裁判を行うと規定された。
- ④ 条約付属の改税約書で関税について定められ，日本には税率の決定権がないことが規定された。

問3 下線部㉕に関連して，開国後の物価高騰に対する幕府の政策に関して述べた次の文X・Yについて，その正誤の組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 30

- X 生糸などの5品目については横浜への直送を禁じ，江戸の間屋を経由して輸出することを命じた。
- Y 金貨の外国への流出を阻止するために，金の含有量を大きく減らした万延小判を鑄造・流通させた。

- ① X 正    Y 正                      ② X 正    Y 誤
- ③ X 誤    Y 正                      ④ X 誤    Y 誤

問4 下線部㉔に関連して、尊王攘夷を掲げていた長州藩に関わる出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 31

- Ⅰ イギリス、フランス、アメリカ、オランダの4国が連合艦隊を編成して下関を攻撃し、砲台を占領した。
- Ⅱ 朝廷からの圧力を受けた幕府が諸藩に攘夷を命じたことを受け、長州藩は下関海峡を通る外国船に砲撃を開始した。
- Ⅲ 薩摩藩と会津藩は、長州藩の勢力を京都から追放する八月十八日の政変を起こした。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ  
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問5 下線部㉕に関連して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 32

- ① 版籍奉還は、薩摩や会津など四つの藩の申し出に応じる形で実施された。
- ② 廃藩置県では、新たに置かれた府知事や県令に、旧藩の藩主が任命された。
- ③ 新政府の政治組織を定めた政体書では、三権分立主義の採用が示された。
- ④ 旧藩兵を解散し、徴兵令によって各地から集めた武士を天皇に直属させた。

B 1937年7月、北京郊外の  付近で、日本軍と中国軍の衝突事件が勃発した。⑤第1次近衛文麿内閣は、当初、不拡大方針を表明したが、やがて大規模な軍隊の派遣を決定し、中国の国民政府も抗戦の姿勢で臨んだため、日中戦争に発展して長期化した。

ヨーロッパでは、⑥ドイツのヒトラー政権が1935年に再軍備を宣言して徴兵制を復活させ、イタリアのムッソリーニも同年にエチオピアに侵攻した。第一次世界大戦後の国際協調体制が崩壊へ向かうなかで、日本はドイツ・イタリアと結束をはかり、枢軸陣営が形成された。

1939年9月、ドイツがポーランドに侵攻し、第二次世界大戦が始まった。ドイツは破竹の勢いで緒戦を勝ち進み、ヨーロッパ諸国を次々と支配下に入れていったため、日本国内ではドイツとの提携を強化すべきという主張が高まり、を仮想敵国とする日独伊三国軍事同盟が結ばれた。は日中戦争で中国の国民政府を援助し、日本との対立を深めていた。軍需資材の入手が困難になっていた日本は、こうした軍事同盟を締結したうえで、戦争継続のための資源を求めて⑧東南アジアに進出していった。

問6 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ウ 張鼓峰      エ アメリカ
- ② ウ 張鼓峰      エ ソ 連
- ③ ウ 盧溝橋      エ アメリカ
- ④ ウ 盧溝橋      エ ソ 連

問7 下線部㉔に関連して、この内閣の政策に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

- a 日中戦争の目的は「東亜新秩序」建設にあるという声明を出し、日・満・華の提携を唱えた。
- b 蔣介石を重慶から脱出させ、南京に新国民政府を樹立させた。
- c 国民に戦争協力を促す新体制運動を推進し、全国の工場や事業所に産業報国会の結成を奨励した。
- d 国家総動員法が制定され、政府は議会の承認なしに戦争遂行に必要な物資や労働力を動員できるようになった。

- ① a・c      ② a・d      ③ b・c      ④ b・d

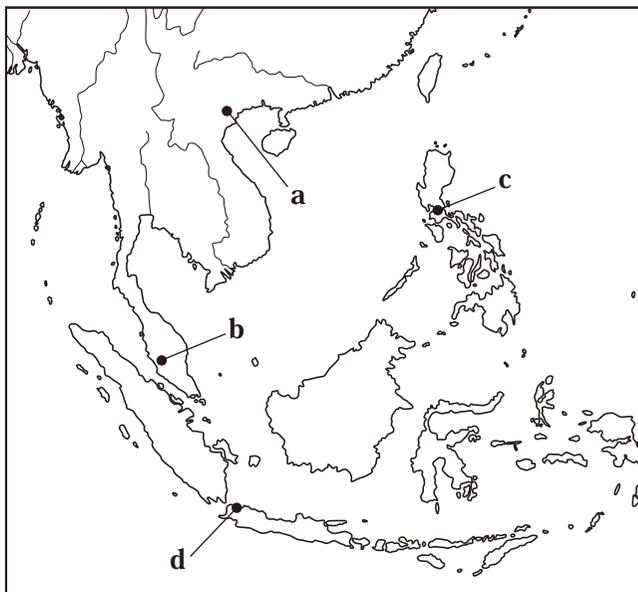
問8 下線部㉕に関連して、近代の日本とドイツの関係について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 1880年代に憲法調査のために渡欧した伊藤博文は、ベルリン大学などでドイツ流の憲法理論を学んで帰国した。
- ② 日清戦争後の下関条約で日本は遼東半島を割譲されたが、ドイツを含む三国の干渉によって清国に返還した。
- ③ 第一次世界大戦では、日本はドイツに宣戦布告し、山東省の青島や赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部を占領した。
- ④ 第二次世界大戦末期、日本が日ソ中立条約を結ぶと、日本の同盟国であったドイツも独ソ不可侵条約を締結した。

問9 下線部⑧に関連して、第二次世界大戦期の日本と東南アジア諸国との関係について述べた次の文X・Yと、それに該当する地図上の地域a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 36

X 日本は、諸外国による国民政府支援物資の搬入を阻止すべく、フランスの支配下にあったこの地域の北部に侵攻した。

Y 東条英機内閣のときに開かれた大東亜会議では、日本が占領する前にはアメリカの植民地であったこの地域の代表も<sup>しょうへい</sup>招聘された。



- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2025年度奨学生入試【世界史探究】

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 1)「パルテノン神殿」         | 写真：アフロ |
| 2)「ガール水道橋」          | 写真：アフロ |
| 3)「サーンチーのストゥーバ(仏塔)」 | 写真：アフロ |
| 4)「スフィンクス」          | 写真：アフロ |
| 5)「南宋の青磁」           | 写真：アフロ |
| 6)「殷(商)・周時代の青銅器」    | 写真：アフロ |
| 7)「唐三彩」             | 写真：アフロ |
| 8)「始皇帝陵の兵馬俑」        | 写真：アフロ |

2025年度奨学生入試【日本史探究】

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1)「磨製石包丁」 | 徳島市立考古資料館      |
| 2)「嶋原御陣図」 | 伝習館高校所蔵・柳川古文書館 |
| 3)「遮光器土偶」 | ColBase        |